



*Ideas & Chemistry*

2012.5.9

# 2011年度決算説明会資料



東洋紡  
取締役社長  
坂元龍三



# 決算のポイント

## 11年度実績

液晶関連の環境悪化により、営業利益減も、当期利益は微増

- ▶ 液晶向けは、為替の影響および競争激化で、単価下落。  
フィルム全般で、減産実施
- ▶ 原燃料、為替、タイ洪水が、自動車向け他へ影響
- ▶ 環境、ライフサイエンス堅調。ポートフォリオ改革の効果進展

## 12年度予想

- 設備稼働の回復、ポートフォリオ改革の効果を見込み、  
営業利益240億円を予想（うち、減価償却方法変更影響分 40億円）

	10年度			11年度			12年度 (予想)
	上期	下期		上期	下期		(億円)
売上高	1,697	1,708	3,406	1,781	1,714	3,495	3,650
営業利益	109	99	209	110	73	183	240

# 目次

I

2011年度決算概況

II

2012年度予想

III

中期計画進捗

IV

訴訟

補足資料

## I . 2011年度決算概況

## (1) 決算概要

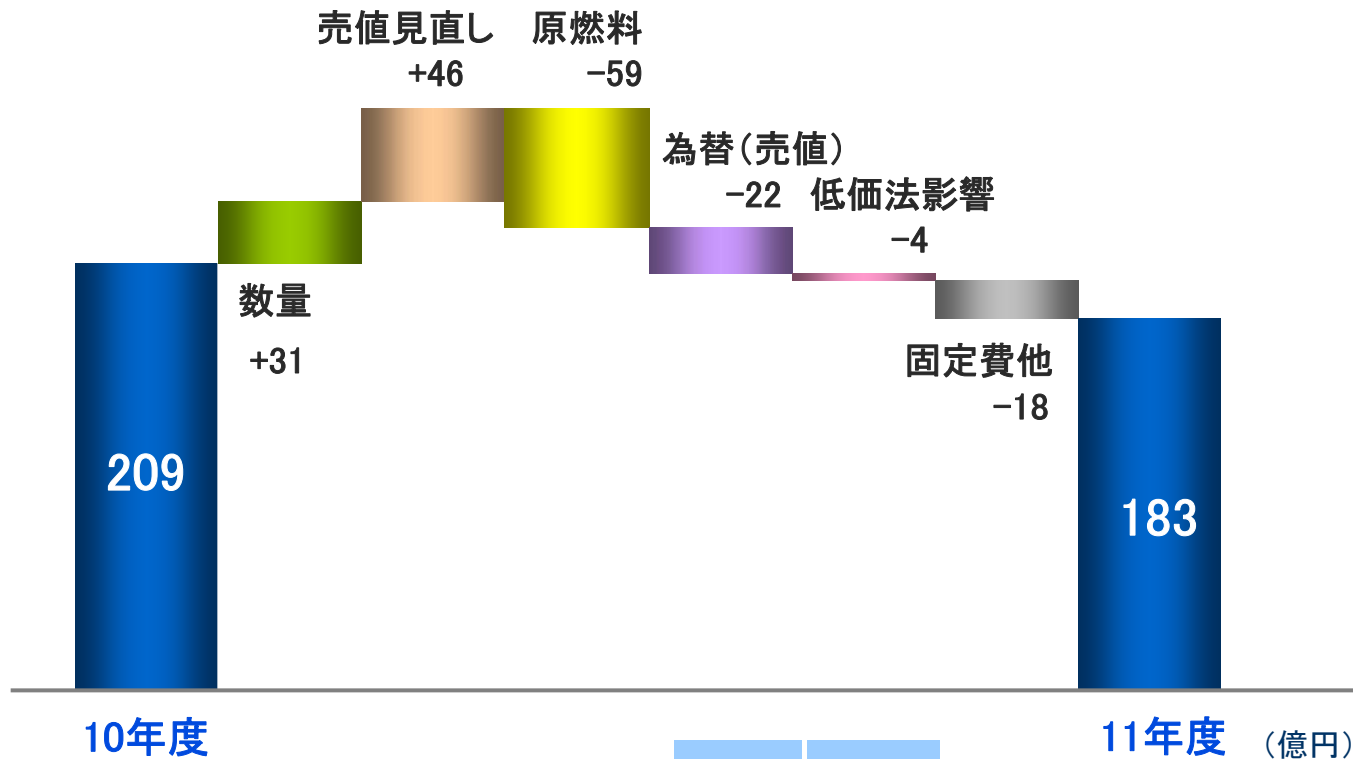
	(億円)						
	10年度	11年度			増減		直近見通し (2012/2)
		上期	下期		金額	%	
売上高	3,406	1,781	1,714	3,495	+89	+2.6%	3,500
営業利益	209	110	73	183	-26	-12.4%	200
(営業利益率)	6.1%	6.2%	4.2%	5.2%	-	-	5.7%
経常利益	170	101	56	157	-13	-7.7%	170
当期純利益	42	52	-6	46	+4	+10.4%	65
EPS(円)	5.49	-	-	5.17	-	-	
減価償却費	191	95	100	195	+4	+1.9%	
設備投資	139	72	93	165	+26	+18.6%	
営業CF	337	96	46	142	-195	-57.9%	
為替レート(円/US\$)	85	80	78	79			
国産ナフサ価格(千円/KL)	48	57	53	55			

## (2) 財務指標

	(億円)			(参考)
	11/3末	12/3末	増減	11/12末
総資産	4,435	4,378	-57	
うち棚卸資産	660	776	+116	822
純資産	1,498	1,477	-20	
自己資本	1,258	1,306	+48	
(自己資本比率)	28.4%	29.8%	-	
有利子負債	1,518	1,549	+31	
D/E レシオ	1.21	1.19	-	
(営業利益ROA)	4.7%	4.2%		

## (3) 営業利益増減要因分析

【10年度→11年度】



	10	11
円レート (¥/\$)	85	79
国産ナフサ (千円/kl)	48	55

## (4) セグメント別

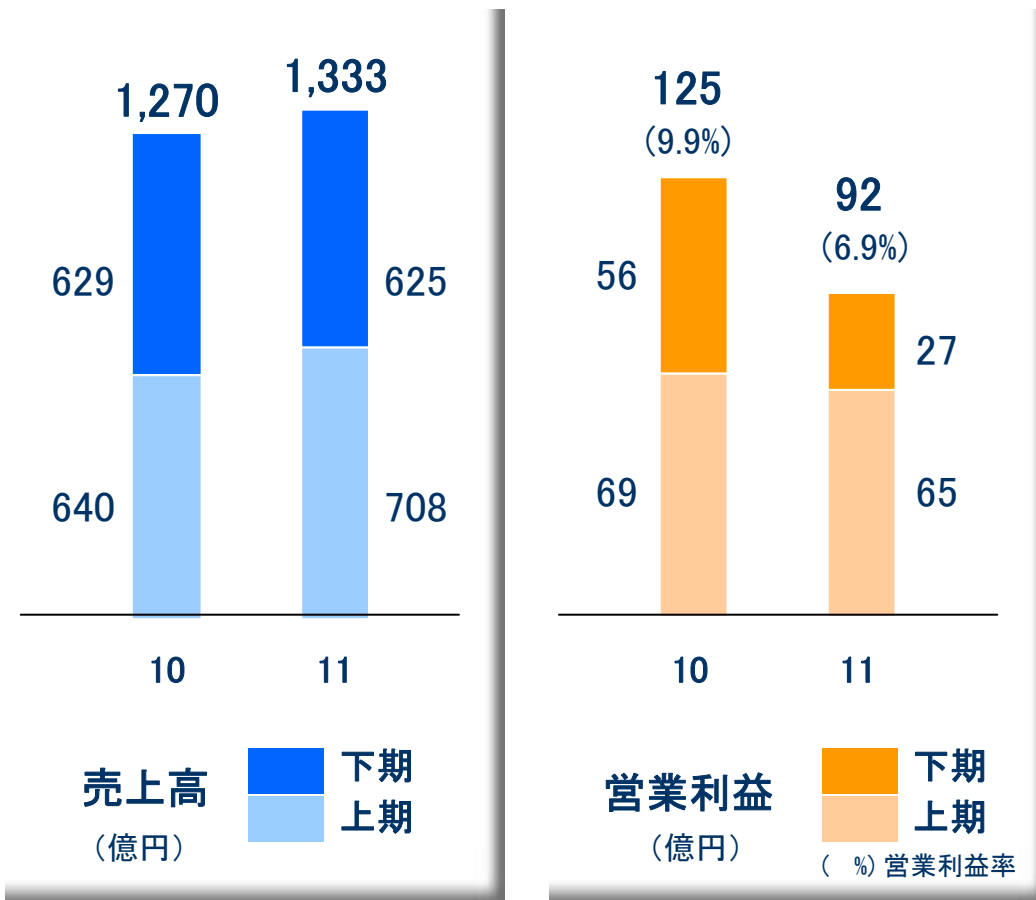
(億円)

	売上高				営業利益				直近見通し (2012/2)
	10年度	11年度		10年度	11年度				
		上期	下期		上期	下期			
フィルム・機能樹脂	1,270	708	625	1,333	125	65	27	92	107
産業マテリアル	715	343	369	712	49	24	29	53	53
ライフサイエンス	314	156	161	317	37	16	19	35	35
スペシャルティ計 (営業利益率)	2,298	1,207	1,155	2,362	212	105	75	180	195
					9.2%	8.7%	6.5%	7.6%	
衣料繊維	868	442	438	880	6	9	2	11	10
不動産・その他	239	132	121	253	23	11	13	25	25
消去・全社	-	-	-	-	-32	-15	-18	-33	-30
合計	3,406	1,781	1,714	3,495	209	110	73	183	200



## (5)セグメント別 ① フィルム・機能樹脂

工業用フィルム苦戦。液晶市場の悪化継続で、減産実施  
自動車関連は震災、タイ洪水影響受けるも足元の数量回復



## ● 工業用フィルム

- ・ 液晶向け減産実施、在庫調整
- ・ セラコン工程用コート設備新設

## ● 包装用フィルム

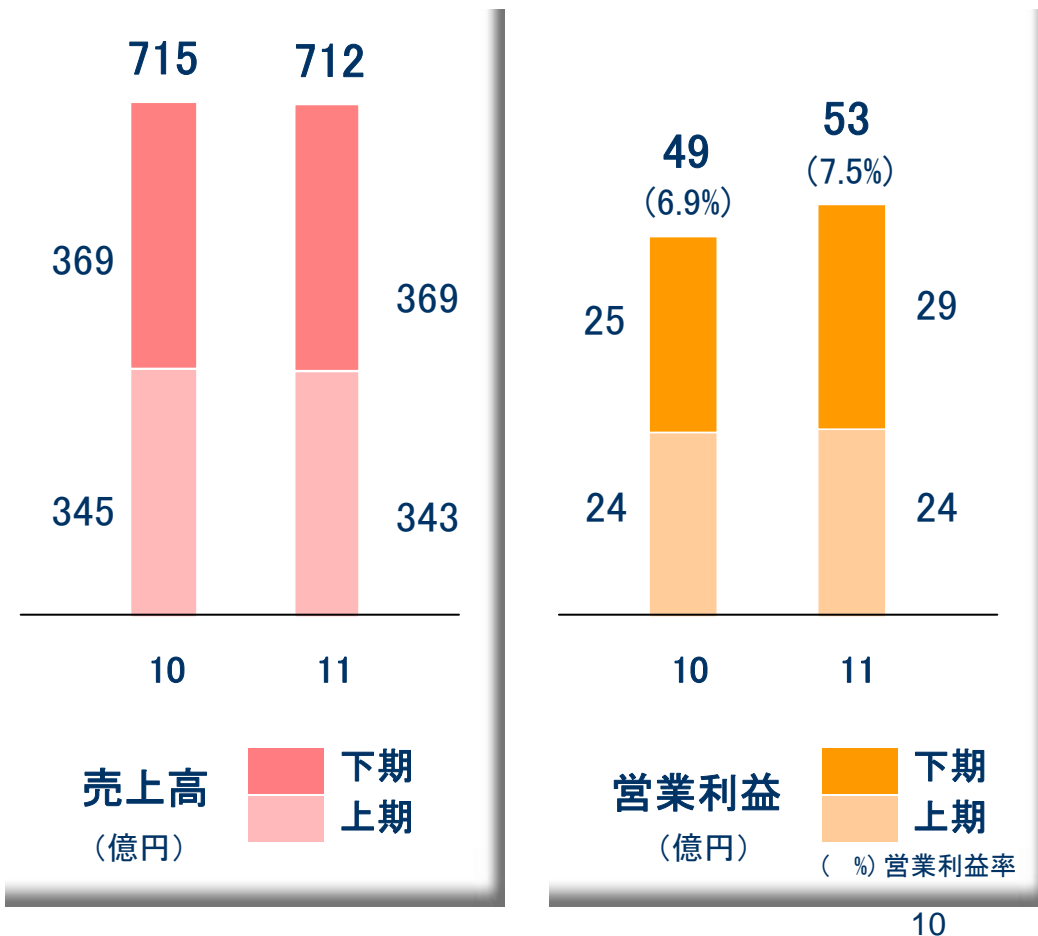
- ・ 上期堅調も、下期ユーザーの需給調整あり苦戦
- ・ シュリンクフィルムは新製品貢献

## ● 機能樹脂

- ・ 「バイロン<sup>®</sup>」は海外売上拡大  
タイでの生産決定
- ・ エンプラは自動車向け数量回復

## ② 産業マテリアル

機能フィルターなどの環境関連、生活・安全分野が堅調  
エアバッグ、スパンボンドなどの自動車関連も数量回復



## ● 機能フィルター

- ・ 事務機器、空調用フィルター堅調
- ・ VOC<sup>\*</sup>処理装置は中・韓の案件延期  
\* 揮発性有機溶剤

## ● スーパー繊維

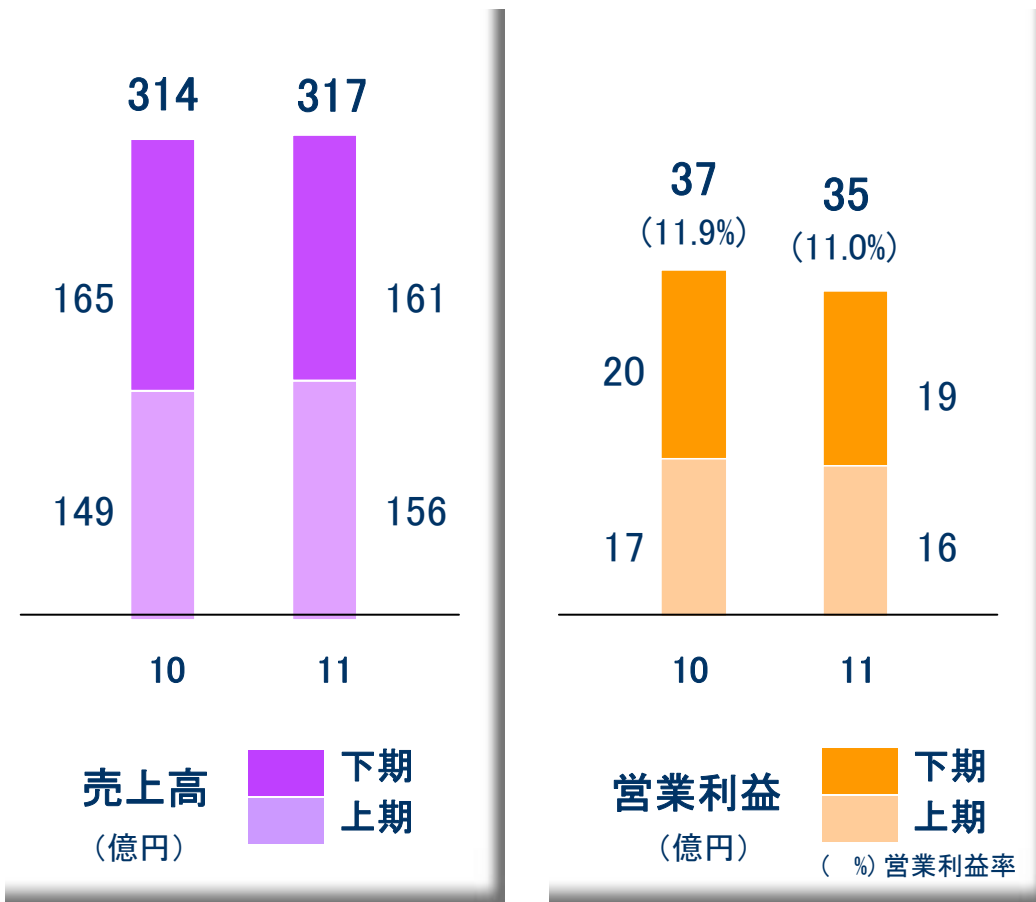
- ・ 「ダイニーマ<sup>®</sup>」は景気回復遅れで数量減
- ・ 「サイロン<sup>®</sup>」は耐熱フェルト用途が好調

## ● 自動車関連

- ・ エアバッグは震災影響大も2Qより回復
- ・ タイヤコードはユーザーのタイ洪水被災、  
為替の影響により苦戦

## ③ ライフサイエンス

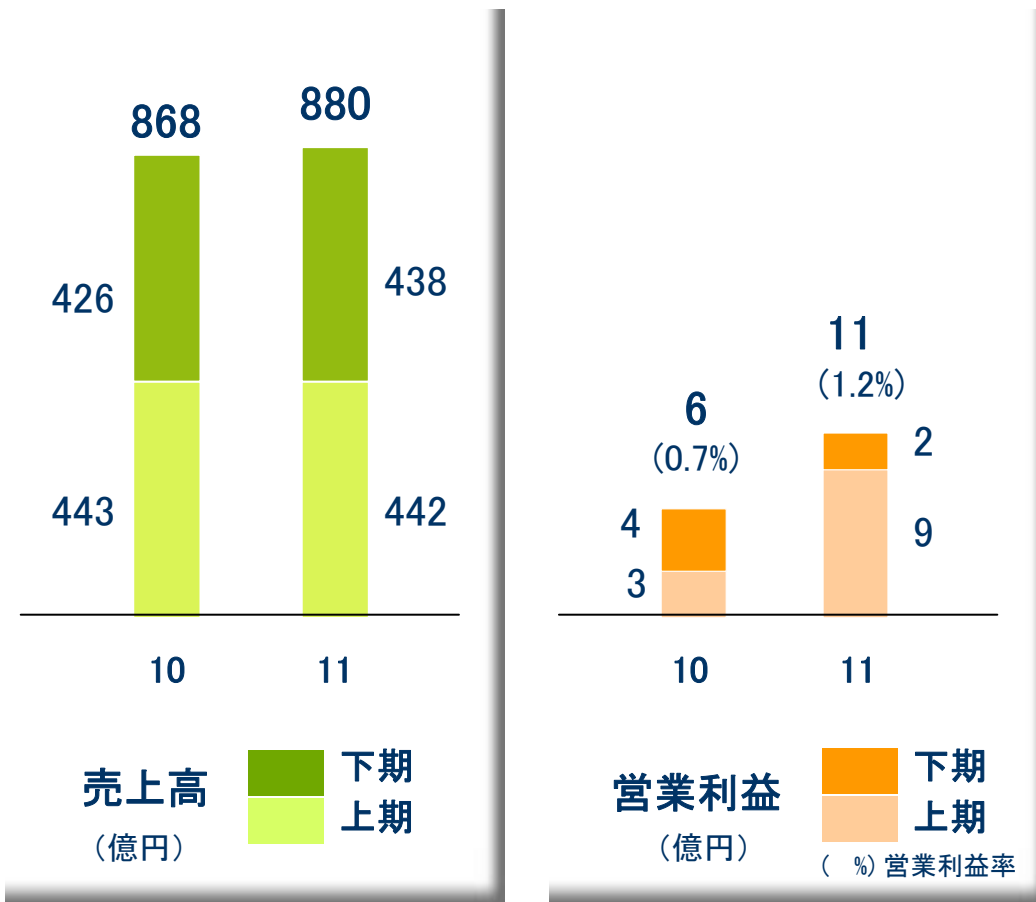
為替影響あるも診断薬用酵素は順調に拡大  
医薬品製造受託、機能膜なども需要堅調



- 診断薬用酵素
  - ・ 血糖モニター用酵素海外好調
- 医用膜
  - ・ 海外市場堅調
- アクア膜
  - ・ 新規案件への出荷開始、為替影響大
- 合成薬中間体
  - ・ 数量減で苦戦

## ④ 衣料繊維

## インナー、スポーツでの機能衣料取組み拡大 羊毛事業の構造改革効果



## ● 東洋紡STC (繊維)

- ・ インナー・スポーツ向け機能素材堅調
- ・ トーブは数量堅調も為替で苦戦

## ● 羊毛事業

- ・ 生産拠点の統合

## ● アクリル繊維

- ・ 特化素材堅調

## Ⅱ. 2012年度予想

## (1) 業績予想

1Qより、設備稼働回復。  
加えて、ポートフォリオ改革と新設備稼働の効果

(億円)

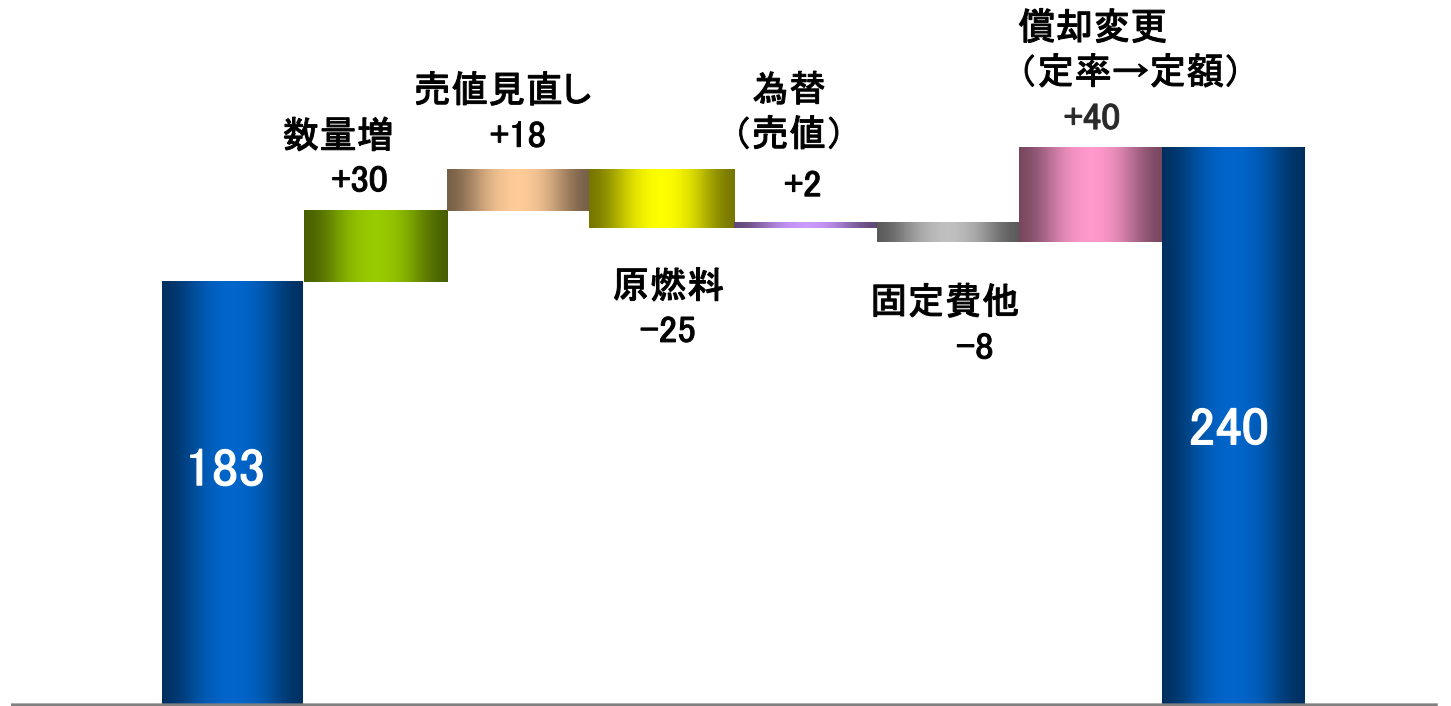
	11年度実績	12年度予想	増 減	
			金額	%
売上高	3,495	3,650	+155	+4.4%
営業利益	183	240 *	+57	+31.1%
(営業利益率)	5.2%	6.6%	-	-
経常利益	157	210	+53	+33.5%
当期純利益	46	100	+54	+118.0%
EPS(円)	5.17	11.28	-	-
減価償却費	195	155	-40	-
設備投資	165	200	+35	-
為替レート(円/US\$)	79	80		
国産ナフサ価格(千円/KL)	55	60		

\* 減価償却方法変更影響分 40億円



(2) 営業利益増減要因分析 (予想)

【11年度→12年度】



11年度

12年度 (億円)

	11	12
円レート (¥/\$)	79	80
国産ナフサ (千円/kl)	55	60



## (3) セグメント別内訳 (予想)

(億円)

	売上高		営業利益	
	11年度	12年度	11年度	12年度
フィルム・機能樹脂	1,333	1,400	92	125
産業マテリアル	712	800	53	67
ライフサイエンス	317	330	35	43
スペシャルティ計	2,362	2,530	180	235
(営業利益率)			7.6%	9.3%
衣料繊維	880	860	11	13
不動産・その他	253	260	25	25
消去・全社	-	-	-33	-33
合計	3,495	3,650	183	240



### Ⅲ. 中期計画進捗

## (1) めざす姿と経営方針

### ■ めざす姿：「環境、ライフサイエンス、高機能で、新たな価値を提供するカテゴリートップ企業」

- 成長性：           スペシャルティ事業 約8%/年 成長
- 収益性・効率：   ROA(営業利益/総資産) 約8%をめざす
- 安定性：           D/Eレシオ1.0倍をめざす

### ■ 経営方針：「変革、強い東洋紡を築く」

— 不断のポートフォリオ改革 —

- ### ■ アクションプラン：
- 1) 能力増強投資
  - 2) 海外展開加速
  - 3) 製品ポートフォリオ改革
  - 4) 資産効率の向上

## (2) 最終年度目標






前提条件(為替、原燃料)、液晶汎用化などを勘案し、  
数値目標見直し

	11年度 実績	13年度 (億円)	
		当初目標 (10年発表)	今回見直し
売上高	3,495	4,000	3,900
うちスペシャルティ (構成比)	2,362 68%	3,000 75%	2,750 71%
営業利益 (率)	183 5.2%	300 7.5%	270* 6.9%
為替レート(円/US\$)	79	90	80
国産ナフサ価格(千円/KL)	55	50	60

\*償却方法変更影響分40億円を見込む

(3) アクションプランと進捗状況 ①

1) 能力増強投資

稼働時期		'11	'12	'13	'14
設備					
ハイブリッド型フィルム					
セラコン工程用フィルム コーター					
変性ポリオレフィン 「ハードレン <sup>®</sup> 」					
スーパー繊維「ダイニーマ <sup>®</sup> 」					
医薬品製造受託(注射剤)					

(3) アクションプランと進捗状況 ②

2) 海外展開加速

足元の環境変化を踏まえ、海外展開をさらに加速

事業	販売開始時期		'11	'12	'13	'14
	地域					
「バイロン <sup>®</sup> 」製造・販売	タイ					
エアバッグ製造・販売	中国					
	北米					
アクア膜製造・販売	サウジアラビア					
VOC処理装置アジア展開	アジア					

グローバル推進体制の整備：グローバル推進本部、海外地域統括会社を設置  
 (地域：中国、東南アジア、北米、南米、欧州)

### (3) アクションプランと進捗状況 ③

#### 3) 製品ポートフォリオ改革の成果

(新製品・新技術)

- 太陽電池バックシート用フィルム・接着剤
- セラミックコンデンサ工程用離型フィルム
- タッチパネル用低干渉フィルム
- 高耐熱性成型用樹脂「バイロアミド<sup>®</sup>」
- 高耐熱性ポリイミドフィルム「ゼノマックス<sup>®</sup>」

#### 4) 資産効率の向上

## IV. 訴訟

## 訴訟関連

### <概要>

- ① 03年6月、ザイロン繊維使用の防弾ベスト事故(米国ペンシルバニア)(貫通事故:1件)
- ② 事故被害者、同種ベスト購入者等が、防弾ベストメーカー、当社に損害賠償請求を提起
- ③ 防弾ベストメーカーの元取締役が米国不正請求禁止法に基づく訴訟を提起、  
米国政府(司法省)がこの訴訟に原告として参加
- ④ 事故を起こしたメーカー以外の防弾ベストに関しても、米国政府(司法省)が訴訟を提起

### <解決済みの訴訟－いずれも和解による解決>

- ・購入者からの集団訴訟－2005年10月
- ・事故被害者からの訴訟(PL関連訴訟)－2006年から2007年
- ・ドイツ州政府からの訴訟－2009年2月
- ・防弾ベストメーカーからの訴訟－2011年7月(2件)および2012年3月

### <訴訟状況>

(2012.5.8現在)

	クラスアクション	PL関連	政府関係		防弾ベストメーカー			政府関係
			アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブランク	ファーストチョイス	
原告	購入者	警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブランク	ファーストチョイス	ドイツ州政府
状況	和解成立 (05年10月)	和解成立 (06～07年)	訴状受取後 動きなし	証拠開示 手続	和解成立 (11年7月)	和解成立 (11年7月)	和解成立 (12年3月)	和解成立 (09年2月)
件数	10件	4件	1件	2件	1件	1件	1件	1件



補足資料

# スペシャルティ事業と展開市場

市場 事業セグメント	自動車	電子・ 情報表示	環境	ライフ サイエンス	生活・ 安全
フィルム・ 機能樹脂	高透明光学 フィルム	高耐熱性フィルム 高耐熱性成型用樹脂 機能樹脂	太陽電池BS用フィルム 燃料電池膜 PET用新触媒		包装用フィルム
産業 マテリアル	A/B用基布 機能フィルター 不織布		VOC処理装置 機能フィルター 水処理膜		スーパー繊維 網状構造弾性体
ライフ サイエンス				医用膜 診断システム 診断薬用酵素 医薬品製造受託	 化粧品原料
11年度スペシャルティ売上高(億円)	460	350	220	290	1,040

## 本資料取扱い上のご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡績株式会社